

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク I (4 単位)	3. 科目番号	SBMP2155
2. 授業担当教員	植木 是		SSMP2155
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、歴史、理念、権利擁護の実際、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び倫理、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義について学ぶとともに、実践現場で活用するためのソーシャルワークの方法・技術を身に付ける。		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解し説明できる。 ・相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。 ・相談援助の理念について理解し、説明できる。 ・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。 ・相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。 ・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	学生の理解度に応じた課題を適宜出す。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会『新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職』第 3 版 中央法規出版, 2015 年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。</p> <p>2. 筆記試験とレポート試験を行う。60%</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 社会福祉士の役割 (総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む) と意義について理解し、説明できる。</p> <p>2. 相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。</p> <p>3. 相談援助の理念について理解し、説明できる。</p> <p>4. 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。</p> <p>5. 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。</p> <p>6. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	本講義では、大学の各講義で学んだ知識や方法を当事者支援に活用するために必要となる援助技術の理論や方法を学ぶ。現場実践に不可欠な内容について講義するので、予習・復習にしっかりと取り組み理解を深めること。特に、ソーシャルワークのプロセスやバイステックの 7 原則と言った基礎的な知識は、確実に身につけられるようにすること。		
13. オフィスアワー	授業時間の前後に相談に応じます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 社会福祉におけるソーシャルワークの位置づけ	事前学習	ソーシャルワーク I で何を学ぶのか、テキストを概観する。
		事後学習	社会福祉とソーシャルワークの関係について、理解を深めておく。
第 2 回	第 1 章 相談援助とは ソーシャルワーカーとソーシャルワーク	事前学習	第 1 章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ソーシャルワーカーとは、ソーシャルワークとは、これらを端的に説明できるようにする。
第 3 回	第 2 章 相談援助の構造と機能 (1) ソーシャルワークの構造	事前学習	第 2 章第 1 節、第 2 節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ソーシャルワークの対象についての理解を深める。
第 4 回	第 2 章 相談援助の構造と機能 (2) ソーシャルワークの機能	事前学習	第 2 章第 3 節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ソーシャルワークの機能についての理解を深める。

第5回	第3章 人と環境の相互作用	事前学習	第3章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	人と環境の相互作用に働きかけるソーシャルワークのイメージをつかむ。
第6回	第4章 相談援助における援助関係 (1) 援助関係の意義	事前学習	第4章第1節、第2節、第3節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ミクロ、メゾ、マクロの各領域におけるソーシャルワークについて理解する。
第7回	第4章 相談援助における援助関係 (2) 援助関係の質と自己覚知	事前学習	第4章第4節、第5節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	協働的援助関係について、理解を深めておく。
第8回	第5章 相談援助の展開過程 I ケース発見からアセスメントまで	事前学習	第5章第1節、第2節、第3節、第4節、第5節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	アセスメントの視点と方法について、理解を深めておく。
第9回	第5章 相談援助の展開過程 II アセスメントから支援の実施まで	事前学習	第5章第6節、第7節、第8節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	当事者主体の支援計画とはどのようなものか、理解を深めておく。
第10回	第6章 相談援助の展開過程 III モニタリングと再アセスメント	事前学習	第6章第1節、第2節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	モニタリングの視点と方法について、理解を深めておく。
第11回	第6章 相談援助の展開過程 IV 支援の終結とアフターケア	事前学習	第6章第3節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	支援関係終結後のアフターケアの視点と方法について、理解を深めておく。
第12回	第6章 相談援助の展開過程 V 予防的対応とサービス開発	事前学習	第6章第4節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	潜在的ニーズに対する予防的視点がなぜ重要なのかを理解する。
第13回	第7章 相談援助のためのアウトリーチの技術 (1) アウトリーチの意義と目的	事前学習	第7章第1節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	アウトリーチの必要性を理解する。
第14回	第7章 相談援助のためのアウトリーチの技術 (2) アウトリーチの方法と留意点	事前学習	第7章第2節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	アウトリーチの方法と課題について考える。
第15回	第8章 相談援助のための契約の技術 (1) 契約の意義と目的	事前学習	第8章第1節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ソーシャルワークでなぜ契約が重要になるのかを理解しておく。
第16回	第8章 相談援助のための契約の技術 (2) 契約の方法と留意点	事前学習	第8章第2節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	支援・被支援関係における「合意」の意味について理解する。
第17回	第9章 相談援助のためのアセスメントの技術 (1) アセスメントの特性、援助関係、面接	事前学習	第9章第1節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	アセスメントは何を目的に実施するのかを理解する。
第18回	第9章 相談援助のためのアセスメントの技術 (2) 得るべき情報と視覚化	事前学習	第9章第2節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	アセスメントの方法について理解する。
第19回	第9章 相談援助のためのアセスメントの技術 (3) 情報の使い方	事前学習	第9章第3節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	アセスメントで得た情報の活用方法について理解を深める。
第20回	第10章 相談援助のための介入の技術 (1) 介入の意義と目的	事前学習	第10章第1節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ソーシャルワークにおいて「介入する」ということはどういうことかを理解する。
第21回	第10章 相談援助のための介入の技術 (2) 介入の方法と留意点	事前学習	第10章第2節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	介入の際に求められる方法について理解する。

第22回	第11章 相談援助のための経過観察、再アセスメント、効果測定、評価の技術(1) モニタリング	事前学習	第11章第1節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	モニタリングに求められる視点と方法について理解する。
第23回	第11章 相談援助のための経過観察、再アセスメント、効果測定、評価の技術(2) 再アセスメント	事前学習	第11章第2節、第3節、第4節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	再アセスメントに求められる視点と方法について理解する。
第24回	第12章 相談援助のための面接の技術(1) 面接の目的と展開	事前学習	第12章第1節、第2節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	なぜ面接を行うのか、どのような面接を行うのかを理解する。
第25回	第12章 相談援助のための面接の技術(2) 面接の技術とコミュニケーション	事前学習	第12章第3節、第4節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	面接に必要な技術について、どのようにすれば身につけられるのかを考える。
第26回	第13章 相談援助のための記録の技術(1) 記録の意義と目的	事前学習	第13章第1節、第2節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	実践現場における支援記録の意義と課題について理解を深める。
第27回	第13章 相談援助のための記録の技術(2) 記録の方法とIT化	事前学習	第13章第3節、第4節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	IT化の課題について整理しておく。
第28回	第14章 相談援助のための交渉の技術(1) 交渉の意義と目的	事前学習	第14章第1節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ソーシャルワークにおける交渉の意義を考える。
第29回	第14章 相談援助のための交渉の技術(2) 交渉の方法と留意点	事前学習	第14章第2節、第3節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	交渉の方法について学びを深める。
第30回	小テスト 半期の振り返り	事前学習	ソーシャルワークのプロセスとバイステックの7原則について復習しておく。
		事後学習	半期を振り返って学び足りないことを整理しておく。